

今月は物語文に取り組んでいきます。それぞれの回のポイントを参考にして、学習を進めてください。

◆第19回 物語文⑩／ことわざ・慣用句③

練成問題では物語文を学習します。「いつ・どこで・だれが・どうした」のかを意識して、場面を正確に読み取り、それぞれの場面での登場人物の気持ちを考えるようにしましょう。気持ちを読み取るためには、会話文、登場人物の行動、動作、表情が表現されている部分に注目してください。

語句はことわざ・慣用句を学習します。知らなかったものは、意味もふくめて覚えるようにしてください。ことわざ・慣用句辞典などを用いて、同じ意味の表現や、反対の意味の表現を調べ、ことばにたくさんふれるようにしてください。

◆第20回 物語文⑪／漢字パズル②

前回に引き続き、練成問題では物語文を学習します。今回学習する文章では、たくさんの登場人物が出てきます。登場人物の関係を整理しながら文章を読んでいくようにしましょう。また記述量も多くたいへんですが、完璧な解答になっていなくてもかまいませんので、何か書いてみようという姿勢で臨んでください。

語句は漢字パズルを学習します。漢字パズルの問題を解けるようにするためには、漢字を見たときに、たくさんの熟語が出てくるようにトレーニングしていくことが大切です。

◆第21回 物語文⑫／画数・筆順②

今回も練成問題では物語文を学習します。物語文の設問では、傍線前後の会話文の流れをつかむことが、問題を解くポイントになることがほとんどです。発言の意図、その発言をどう受け止めたかを考えるようにしましょう。

語句は画数・筆順を学習します。正しい筆順で漢字が書けているかを確認していきましょう。筆順は新出の漢字を覚えるときに注意するようにしてください。初めに誤った書き方で覚えてしまうと、正しい書き方に直していくのが難しくなってしまいます。

周期と規則性 N進法 小数の計算

第19回、第20回、第21回の授業では、「周期と規則性」「N進法」「小数の計算」という中学受験の基礎になる単元を学習します。「周期と規則性」では主に周期性と日暦算について、「N進法」ではN進法の概念から応用して解くものまで色々な問題を、「小数の計算」では小数の加減乗までの計算をそれぞれ学習していきます。

◆第19回 規則性Ⅴ 周期と規則性

周期性とは同じことの繰り返しということですが、それを使って解く問題に慣れていきます。また、日暦算のうち、主に曜日を求める問題にも慣れていただきます。必ずノートに式や数列を書いて、考えるようにしてください。

① 例題と練習

例題はすべて動画が用意されています。

例題1 周期性の基本となる数列の問題です。何が1セットになっているのかをきちんと見抜きましょう。

例題2 硬貨の問題になっていますが、本質は例題1と同じです。

例題3 非常に接近した日付の曜日を求める問題です。

例題4 月をまたいで曜日を求める問題になっています。

各例題の動画を見て理解したら、必ず練習に自力で取り組んで、答え合わせをし、間違っていたら、どこで間違ったかをよく確認して、再度解き直しをするということを徹底してください。わかりにくくなった場合は、再度例題の動画を見てみましょう。

② 復習問題

復習問題は、基本的に例題・練習とほぼ同じタイプの問題が並んでいますので、例題と練習をすべて済ませた後、取り組んでもらいたい宿題としています。

①と②が例題1の、③と④が例題2の、⑤と⑥が例題3の、⑦と⑧が例題4のそれぞれ改題になっています。

解いたあと答え合わせをして、間違っていたら間違ったところを確認して再度解きなさいというのは、練習と同じです。難しく感じる場合は、対応する例題の動画を参考にしてください。

③ 練成問題

練成問題も、解説動画がすべて用意されています。

- 1 1セットを間違いなく見抜くことが重要です。この問題の場合は、黒の方が少ないので、黒に注目するとわかりやすくなります。
- 2 曜日を求める日暦算の問題に見えますが、どちらかという、単純な周期性の数列の問題です。
- 3 例題 1, 2 と似ています。
- 4 表をどんどん書いていくといいのですが、6回が1セットになることに気付きにくいです。
- 5 結果は単純なものになるのですが、解き方としては、1年=365日ずれていることに注目します。
- 6 これは日暦算というよりも例題 1, 2 のような周期性の問題と考えるといいでしょう。
- 7 今回は10月の日付を3月の日付に直す発想で考えます。
- 8 水木金土日月火が繰り返されるイメージで解きます。

今回の練成問題で特に必ず押さえておいていただきたい問題は、4, 5, 7, 8となります。

◆第20回 規則性VI N進法

N進法について学習します。10進法は自然に理解できているのですが、この10が他の数に変わると、慣れていないうちは非常に苦勞することになります。N進法は、位取りがN倍になっているということと、使える数字がN個あるということが重要になります。問題によって、何進法なのかを見抜くのが難しい場合もありますので、徐々に慣れてください。

① 例題と練習

例題はすべて動画が用意されています。

例題 1 位取りに慣れる問題です。問題の指示通り落ち着いて考えましょう。

例題 2 典型的な2進法の問題です。

例題 3 慣れていないと、何進法なのかがわかりにくいものになります。それぞれのマスがいくらの数に対応しているかを考えながら、何進法なのかを突き止めていきます。

例題 4 メーターの問題なので、何進法なのかはわかりやすくなっています。

各例題の動画を見て理解したら、必ず練習に自力で取り組んで、答え合わせをし、間違っていたら、どこで間違ったかをよく確認して、再度解き直しをするということを徹底してください。わかりにくくなった場合は、再度例題の動画を見てみましょう。

② 復習問題

復習問題は、基本的に例題・練習とほぼ同じタイプの問題が並んでいますので、例題と練習をすべて済ませた後、取り組んでもらいたい宿題としています。

①が例題 1 の、②が例題 2 の、③が例題 3 の、④が例題 4 のそれぞれ改題になっています。解いたあと答え合わせをして、間違っていたら間違ったところを確認して再度解きなおすというのは、練習と同じです。難しく感じる場合は、対応する例題の動画を参考にしてください。

③ 練成問題

練成問題も、解説動画がすべて用意されています。

- ① 例題 3 に似ていますが、マスを塗っていく方向が異なっています。
- ② ↓が 0 に、↑が 1 に対応しているということがわかると、単純に 2 進法の問題になるのですが、わかりにくく感じる人が多い問題です。
- ③ 例題 1 に関係する問題で、各記号が○の何個分に当たるのかをよく考えましょう。
- ④ 一つ一つの○を黒く塗ることがいくらの数に対応しているのかを考えます。
- ⑤ 難しいことを言っているようですが、単純に 7 進法として考えればいい問題です。

今回の練成問題で特に必ず押さえておいていただきたい問題は、①、④、⑤となります。

◆第 21 回 小数の計算 小数の加減乗

小数の加減乗について学習します。小数の加減は小数点を縦に揃えることが重要です。かけ算は、小数と整数のかけ算だけを扱いますが、整数のかけ算とほとんど同じで、小数点がどこにくるのかということに注意をすればいいということを理解してください。

① 例題と練習

例題はすべて動画が用意されています。

例題 1 小数の加減です。小数点を縦に揃えて筆算を書けば問題なく計算できます。

例題 2 小数の加減に関する文章題です。

例題 3 小数のかけ算です。かけ算そのものは整数のかけ算と全く同じですが、どこに小数点を打てばいいのかをしっかりと理解しましょう。小数点以下で最後に 0 が続く場合はその 0 を書かないということも理解します。

例題 4 小数のかけ算に関する文章題です。

各例題の動画を見て理解したら、必ず練習に自力で取り組んで、答え合わせをし、間違っていたら、どこで間違ったかをよく確認して、再度解き直しをするということを徹底してください。わかりにくくなった場合は、再度例題の動画を見てみましょう。

② 復習問題

復習問題は、基本的に例題・練習とほぼ同じタイプの問題が並んでいますので、例題と練習をすべて済ませた後、取り組んでもらいたい宿題としています。

①と②が例題 1 の、③と④が例題 2 の、⑤と⑥が例題 3 の、⑦と⑧が例題 4 のそれぞれ改題になっています。

解いたあと答え合わせをして、間違っていたら間違ったところを確認して再度解きなおすというのは、練習と同じです。難しく感じる場合は、対応する例題の動画を参考にしてください。

③ 練成問題

練成問題も、解説動画がすべて用意されています。

- ① 例題 2 に似ていますが、線分図を書いた方がうまく整理できます。
- ② ①と同じく、線分図を書くなどして問題を整理しましょう。
- ③ 小数の加減の計算ですが、括弧が出てきます。括弧の中を先に計算します。
- ④ 小数の加減の計算で、途中の□を求める、逆算の問題になっています。
- ⑤ 小数のかけ算も出てきますが、逆算としては加減で求めることができます。
- ⑥ 簡単な植木算の問題で、数値が小数になっています。
- ⑦ ローソクがどれだけ短くなるのかを考えるとそれほど難しくありません。

今回の練成問題で特に必ず押さえておいていただきたい問題は、②, ③, ⑤, ⑦となります。